

I 調査の概要について

1.調査の概要

(1)調査の目的

道民から政策評価に関する意見を募集し、今後の政策評価制度に適切に反映させることを目的として実施しました。

(2)調査の方法等

調査期間	平成29年1月11日(水)～平成29年3月15日(水)
調査方法	①インターネット調査 ②本庁舎1階ロビー、行政情報センター(道庁別館)、行政情報コーナー(各振興局)、でのアンケート用紙の配置 ③道主催イベントでのアンケート用紙の配布
有効回答数(人)	436

(3)アンケート回答者の状況

ア)住所

区分	道内	道外	無回答	計
回答数(人)	404	26	6	436
構成比(%)	92.7%	6.0%	1.4%	100.0%

イ)性別

区分	男性	女性	無回答	計
回答数(人)	280	149	7	436
構成比(%)	64.2%	34.2%	1.6%	100.0%

ウ)年齢構成

区分	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計
回答数(人)	94	289	17	13	5	10	0	8	436
構成比(%)	21.6%	66.3%	3.9%	3.0%	1.1%	2.3%	0.0%	1.8%	100.0%

エ)職業

区分	会社員	団体職員	農林水産業	自営業・自由業	公務員	パート・アルバイト	無職	学生	その他	無回答	計
回答数(人)	28	2	0	2	11	16	11	352	1	13	436
構成比(%)	6.4%	0.5%	0.0%	0.5%	2.5%	3.7%	2.5%	80.7%	0.2%	3.0%	100.0%

II 調査の結果について

Q. 1 「政策評価」の効果として、どの項目に期待をしますか？(複数選択)

区分	政策の着 実な推進 や質の向 上	事務事業 の減量 化・効率 化	事務事業 のスクラ ップ・ア ンド・ビ ルドの徹 底	民間開放 の推進	簡素で効 率的な執 行体制の 構築	特に ない	その他	無回答	計
回答数(人)	281	135	41	57	97	37	3	9	436
構成比(%)	64.4%	31.0%	9.4%	13.1%	22.2%	8.5%	0.7%	2.1%	回答者数に 対する構成比

Q. 2 道では、今年度から政策評価制度の運用を見直しました。以下、この見直し内容について伺います。

(1) 北海道総合計画の着実な推進を図るため、総合計画に掲げる政策に沿って整理した施策について、評価を行うこととしましたが、どのように思われますか？

区分	今のま まで良 い	わから ない	改善し た方が 良い	無回答	計
回答数(人)	213	199	13	11	436
構成比(%)	48.9%	45.6%	3.0%	2.5%	100.0%

(2) 目標・指標などの具体の根拠に基づく評価とするため、施策ごとに成果をあらわす指標を設定し、年度の目標値に対する指標の達成状況の把握及び状況分析を行うこととしましたが、どのように思われますか？

区分	今のま まで良 い	わから ない	改善し た方が 良い	無回答	計
回答数(人)	280	131	15	10	436
構成比(%)	64.2%	30.0%	3.4%	2.3%	100.0%

(3) 取組を効果的・効率的に進める観点から、施策間や部局間の連携状況についても点検・検証を行うこととしましたが、どのように思われますか？

区分	今のま まで良 い	わから ない	改善し た方が 良い	無回答	計
回答数(人)	279	130	15	12	436
構成比(%)	64.0%	29.8%	3.4%	2.8%	100.0%

(4) 施策目標の達成状況については、指標の達成状況に加え、施策全体の取組成果や連携状況等を踏まえた総合評価を行うこととしましたが、どのように思われますか？

区分	今のま まで良 い	わから ない	改善し た方が 良い	無回答	計
回答数(人)	266	133	13	24	436
構成比(%)	61.0%	30.5%	3.0%	5.5%	100.0%

(5) 施策評価と事務事業評価の連動した評価を行うため、評価調書の一体化を図ることとしましたが、どのように思われますか？

区分	今のま まで良 い	わから ない	改善し た方が 良い	無回答	計
回答数(人)	262	141	5	28	436
構成比(%)	60.1%	32.3%	1.1%	6.4%	100.0%

Q. 3 政策評価結果の公表の手法について伺います。

(1) 製本した「政策評価の結果」及び「評価調書」については、行政情報センター(道庁別館)及び各(総合)振興局の行政情報コーナーへ配置し、道民の縦覧に供していますが、公表の手段としてどのように思われますか？

区分	十分である	わからない	他にも配置した方が良い	無回答	計
回答数(人)	233	133	48	22	436
構成比(%)	53.4%	30.5%	11.0%	5.0%	100.0%

(2) 前記(1)のほか、道のホームページに掲載するとともに、メールマガジン、ブログ、ツイッター、地デジデータ放送を利用し、評価結果の公表についてお知らせしていますが、公表の手段としてどのように思われますか？

区分	今のままで良い	わからない	改善した方が良い	無回答	計
回答数(人)	316	74	22	24	436
構成比(%)	72.5%	17.0%	5.0%	5.5%	100.0%

Q. 4 政策評価結果の公表のほか、外部有識者等で構成する「北海道政策評価委員会」の日程を事前に公表し、公開で開催するとともに、会議資料、議事録を公表するなど、透明性を高める取組を進めていますが、どのように思われますか？

区分	今のままで良い	わからない	改善した方が良い	無回答	計
回答数(人)	285	115	10	26	436
構成比(%)	65.4%	26.4%	2.3%	6.0%	100.0%

Q. 5 道民の皆様からご意見をいただき、政策評価制度に反映させるため、随時意見を募集しているほか、アンケート調査を実施していますが、意見募集の手段としてどのように思われますか？

区分	十分である	わからない	取組が不足している	無回答	計
回答数(人)	272	107	26	31	436
構成比(%)	62.4%	24.5%	6.0%	7.1%	100.0%

Q. 6 政策評価制度や、今年度の各評価(施策評価・事務事業評価・特定課題評価・公共事業評価)の結果、今後取り上げて欲しいテーマなどについてのご意見・ご提案

12件のご意見をいただきました。
ご意見に対する道の対応につきましては、Q. 1からQ. 5までに対するご意見への対応と合わせ、次頁に記載しています。

「政策評価結果」の公表の手法や内容についての改善意見への対応

区分	主なご意見	対応状況
評価の手法	<ul style="list-style-type: none"> 何を評価して、その結果どうしたいのかが伝わってこないの、誰にでもわかるシンプルなものにした方が良い。目的が評価することになっているのでは。 ヒアリングによるニーズ把握は必ず取り入れた方が良い どの部分が総合評価だったのかよくわからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成状況に加え、施策の進捗状況の全体分析を行い、評価を行っているところですが、実効性のあるものとなるよう、引き続き、改善に取り組んでいきます。 H22年度よりその時々へのニーズに対応して、点検検証を行う特定課題評価を導入し、公開ヒアリング等の外部評価を取り入れるなど、道民意見の反映に向けた取組を進めています。
目標・指標などの具体の根拠に基づく評価	<ul style="list-style-type: none"> 一部アウトプット指標もあると思うので、できる限りアウトカム指標に。 一見したところ、適格な目標指標ではないものが見受けられる。指標の設定については、多くの方が納得出来るようなものにした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標・指標について、新たな指標を設定するなど、より適切なものとなるよう、引き続き検討を進めていきます。
評価結果(基準・根拠)	<ul style="list-style-type: none"> 概ね順調に展開、課題等はあるが引き続き推進、遅れなどがあり改善が必要、という指標がわかりにくい。 また、課題と遅れは違うものなのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果について、課題や遅れがあるものについては、その内容を具体的に記載するなど、よりわかりやすいものとなるよう、継続して改善に取り組んでいきます。
連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> 総合政策部における各部への対応が他人任せ。 実際のところ、どのように連携して、どのような効果があるのか不明。 縦割り行政がどの程度横との繋がりを重視するのか見物。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に掲げた政策の着実な推進に向けて、関連する施策や関係部局間の連携状況に重点を置いた評価となるよう継続して取り組んでいきます。
評価調書の一本化	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の評価を見ても分野が広すぎて細かすぎるので、施策評価とどのように連動していて、どう評価して良いのか分かりにくい。一体化した趣旨が伝わりにくいので、一緒にする必要はないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策目標の実現により一層寄与するよう事務事業評価と施策評価の連動を図っているところですが、評価調書の見直し等を通じ、よりわかりやすいものとなるよう、継続して改善に取り組んでいきます。
公表様式	<ul style="list-style-type: none"> 本報告書は文章と表のみで構成されており、とても一般道民に読んでもらうような体裁ではない。また、北海道政は国政や市町村政と比較して、一般住民にはあまり接点を感じられないことが多いため、その点を踏まえた報告書の作成をお願いしたい。 道民にもわかりやすい、くだけた表現で作成した方が良い。 生活者に分かりやすいように、内容をかみ砕いたものを公表すると、道民の理解が深まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書の公表内容について、よりわかりやすいものとなるよう、見直しを進めていきます。
PR手法	<ul style="list-style-type: none"> 報道をもう少し大々的に SNS LINEの活用も、可能であればすると良い。 さらにわかりやすい発信、表現があると良い。HP上で施策ごとにPDFファイルを閲覧できる点は、みたい項目をすぐ見られるので良いと思う。 公表していることをもっとPRすべき 	<ul style="list-style-type: none"> 公表手法についてより多くの道民の皆様に周知が図られるよう改善していきます。
報告書の公表場所	<ul style="list-style-type: none"> かでの2.7や振興局などの他の道立施設 市町村役場、図書館、区民センターなどの公共施設 もっと手段を増やした方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書は多くの道民の皆様にご覧いただくため、道のホームページへの掲載をはじめ、行政情報センターや総合振興局等の行政情報センターや総合振興局等の行政情報コーナーに設置しております。 今後、設置場所の増設などについて検討していきます。
アンケート		
手法	<ul style="list-style-type: none"> HPにメール受付やアンケートの配布、手紙等 アンケート調査は、広報、ツイッター、ブログ、メルマガ等様々な方法でより周知が必要だと思います。今まで存在を知りませんでした。そのような方が大半だと思います。 LINE等SNSの活用で、さらに意見の収集が可能になるのではないかと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの配付や周知方法等について、いただいたご意見を基に、継続して改善に取り組んでいきます。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 設問が漠然としてよくわからないので、もっとわかりやすく。 このアンケートでは、細かな現状の説明が不足しているため、判断できない。 よりわかりやすい政策評価制度の説明や、各評価の結果の発表が必要と思います。政策は専門的な知識がなければ理解しにくい部分もあるので、より道民に寄り添い、わかりやすさを心がけていただければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> よりわかりやすいものとなるようアンケート内容を見直すなど、いただいたご意見を基に、改善に取り組んでいきます。

いただいたご意見一覧

評価結果の公表の手法や内容について、53人から延べ89件の具体的なお意見をいただきました。

※長文のご意見等は、一部記述を要約させていただいている場合があります。

※内容が重複するものは省略しています。

区分	ご意見
評価の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・何を評価して、その結果どうしたいのかが伝わってこないのが、誰にでもわかるシンプルなものにした方が良い。目的が評価することになっているのでは。 ・ヒアリングによるニーズ把握は必ず取り入れた方が良い ・どの部分が総合評価だったのかよくわからなかった。 ・人口減少、少子高齢化問題を多く含んだものを取り上げて欲しい。 ・これって必要なの？ 誰得？ と思ってしまうような事業を特集して外部評価し、どうしても必要というのであれば、そこのポジションの人が必要性を住民にわかるように説明するといったコーナーがあると良い。
目標・指標などの具体の根拠に基づく評価	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値(数字)より質が問題である ・一部アウトプット指標もあると思うので、できる限りアウトカム指標に。 ・一見したところ、適格な目標指標ではないものが見受けられる。指標の設定については、多くの人が納得出来るようなものにした方が良い。
評価結果(基準・根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね順調に展開、課題等はあるが引き続き推進、遅れなどがあり改善が必要、という指標がわかりにくい。 ・課題「等」とありますが、具体的にどのような課題があるのか。 ・遅れ「など」とありますが、具体的にどれくらい遅れているのか、説明がほしい。 ・説明がどこかにあるとしても、見つけられなかったので一目で見てわかるようにしてほしい。 ・また、課題と遅れは違うものなのかわからない。 ・指標のとらえ方が一般的であり効果が測れない。 ・この手のものは自画自賛が多すぎる
連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りはいくら検証しても改善されないのが問題だ ・実際のところ、どのように連携して、どのような効果があるのか不明。 ・民間企業では、社内で共通の目標を持ち協力するのは当たり前のこと。 ・縦割り行政がどの程度横との繋がりを重視するのか見物。 ・部局間の連携は非常に重要ですが、評価のために形だけの連携をするなら業務量が増えるだけで、簡素化に逆行してしまうのではないか。 ・担当する部が責任をもって行わなければならない事務もあると思うので、点検・評価の際は連携すれば評価する、とはならないように留意して欲しい。
評価調書の一本化	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の評価を見ても分野が広すぎて細かすぎるので、施策評価とどのように連動していて、どう評価して良いのかわかりにくい。一体化した趣旨が伝わりにくいので、一緒にする必要はないのではないか。
公表様式	<ul style="list-style-type: none"> ・施策や事務事業については項目だけ提示されてもわかりづらい。それらの目的や実施意義についても記述を追加してほしい。 ・本報告書は文章と表のみで構成されており、とても一般道民に読んでもらうような体裁ではない。また、北海道政は国政や市町村政と比較して、一般住民にはあまり接点を感じられないことが多いため、その点を踏まえた報告書の作成をお願いしたい。 ・道民にもわかりやすい、くだけた表現で作成した方が良い。 ・生活者にわかりやすいように、内容をかみ砕いたものを公表すると、道民の理解が深まる。
PR手法	<ul style="list-style-type: none"> ・道庁のPR力向上、道における存在感アップ ・報道をもう少し大々的に ・予算にもよるがTV ラジオなどのCM ・もっとテレビとかを利用すれば。わざわざHPを見ることはない。 ・新聞(地方誌等含め)にも掲載する(同内容他1件) ・SNS LINEの活用も、可能であればすると良い。(同内容他3件) ・学校セミナーを増やす ・さらにわかりやすい発信、表現があると良い。HP上で施策ごとにPDFファイルを閲覧できる点は、みたい項目をすぐ見れるので良いと思う。 ・道庁のHPが全体的に利用しづらい。 ・LINEを活用したほうが、よい多くの方に確認いただけたと思います。 ・(政策評価委員会について、)可能であれば、動画録とその公開(HP等) ・公表していることを知らなかった。 ・公表していることをもっとPRすべき

区分	ご意見
報告書の公表場所	<ul style="list-style-type: none"> ・かでの2.7や振興局などの他の道立施設（同内容他2件） ・市町村役場、図書館、区民センターなどの公共施設（同内容他10件） ・回覧板など（同内容他1件） ・広報誌 ・主要な駅や道の駅など人の集まりやすい場所（同内容他2件） ・地方誌等に掲載する。 ・カフェなどもっと人が集まるところ。自発的に行くところに置いた方が良い。 ・インターネット・オンデマンド印刷で十分である ・市町村広報誌と一緒に配布 ・もっと手段を増やした方が良い
アンケート	
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・HPにメール受付やアンケートの配布、手紙等 ・アンケート調査は、広報、ツイッター、ブログ、メルマガ等様々な方法でより周知が必要だと思います。今まで存在を知りませんでした。そのような方が大半だと思います。 ・LINE等SNSの活用で、さらに意見の収集が可能になるのではないかと考えます。（同内容他3件） ・新聞やはがきの郵送等で道民に意見募集している旨を広めるべき。 ・ポスターの増量 ・学校などに配布できないか。 ・アンケートの存在は今初めて知ったので、認知度が低いと思われる。（同内容他5件） ・難しいかも知れないが、ちゃんとした意見を聞いた方が良い。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が難しすぎるのでは？ 全てではなく、優先順位で少しポイントを絞る方法も良い。 ・設問が漠然としていてよくわからないので、もっとわかりやすく。 ・このアンケートでは、細かな現状の説明が不足しているため、判断できない。 ・アンケートに20歳未満という回答欄もありましたが、20歳未満も回答するという前提で考えるならば、よりわかりやすい政策評価制度の説明や、各評価の結果の発表が必要だと思います。政策は専門的な知識がなければ理解しにくい部分もあるので、より道民に寄り添い、わかりやすさを心がけていただければと思う。 ・それぞれの取組について、もう少し具体的に理解しないとアンケートの回答及び意見をするのは難しいと感じた。
政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・非正規労働者の正規雇用の現状以上の推進 ・災害対策についてもっと具体的な施策を施して欲しい。 ・グローバル化よりも地産地消をもっと積極的に展開すべき。 ・農業改革の取組が甘いのではないか ・道民にとって具体的に（金銭的含む）生活に反映されていない政策そのものに疑問を感じる。 ・道民個人が豊かさを感じ、生活できるよう、豊かさの質を高めて行けたらよりよくなると思う